

青森市商店街マップ

人口分布と商店街売上金額の変遷

青森公立大学

行本ゼミ

アウトライン

1. モチベーション

2. 使用データ

3. 使用ソフト

4. 作成方法

1. モチベーション

§ モチベーション

日本の多くの都市では、

郊外の住宅地開発がすすめられ

市街地中心部から郊外への人口流出が生じた。

その結果、商業集積は市街地中心部の商店街から

郊外の大型商業施設へとシフトしていった。

このことについて、データの可視化を行い

青森市における動向をみてる。

2. 使用データ

§ 商店街売上金額

商業統計調査(平成9年度, 平成14年度, 平成16年度,
平成19年度, 平成26年度)

経済センサス活動調査(令和3年度)

青森市の商店街売上金額

ただし、平成19年度と平成26年度は接続していない。

§ 消費者物価指数

2020年基準消費者物価指数

青森市の持ち家の帰属家賃除く総合

2. 使用データ

§ 青森市の人口分布

e-stat「地図で見る統計（jSTAT MAP）」

国勢調査500mメッシュ人口

(1995年, 2000年, 2005年, 2010年, 2015年, 2020年)

§ 青森市の行政区域

国土交通省国土数値情報の行政区域

現在の青森市域

2. 使用データ

§ 商店街の位置

Google Mapで座標を取得した。

「青森県八市の商店街区の現況」，青森県統計協会，平成6年7月.
に場所の記載があるものは参考にした。

§ 地図

OpenStreetMap

3. 使用ソフト

§ マップ作成

R-4.5.1とRstudio-2025.05.1+513および以下のパッケージを使用した。

Tidyverse2.0.0, sf1.0-21, leaflet2.2.2, RColorBrewer1.1-3,

htmlwidgets1.6.4

§ HTML作成

Adobe Dreamweaverを使用した。

4. 作成方法

§ 作成方法

商業統計調査および経済センサス調査年について

売上金額を消費者物価指数で実質化して、

商店街を表す円の面積が売上金額に比例するように

商店街マップを作成した。

なお、国勢調査は調査年が一致しないため

メッシュ人口については線形補完した。